



KIDS
DESIGN
AWARD
2017

子ども視点による製品やサービスの開発が、今、注目されています！

第11回キッズデザイン賞 作品募集！

主催：キッズデザイン協議会 後援：経済産業省、消費者庁、内閣府

特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会*は、「第11回 キッズデザイン賞」の応募受付を3月3日(金)から開始します。 [5月12日(金)締切]

キッズデザイン賞は、2007年より子どもたちの安全や創造性の育成、子どもを産み育てる環境づくりに貢献する優れた製品や建築・空間、サービスなどを表彰し、その普及を後押しすることで、子どもを産み育てやすい社会づくりを目指しています。あたたかい思いのこもった多彩な作品をお待ちしております。

*会長：和田勇（積水ハウス株式会社 代表取締役会長 兼 CEO）

■キッズデザイン賞の概要 ※詳細はWebサイトをご覧ください。 <http://www.kidsdesignaward.jp>

● 3つの応募部門

子どもの安全・安心に寄与する
製品、空間、サービス、研究など

子どもの創造性や感性の育成に寄与する
製品、空間、サービス、研究など

子どもや子育てに関わる人々に寄与する
製品、空間、サービス、研究など

● 5つの応募カテゴリー

プロダクト
建築・空間
コミュニケーション
調査・研究
復興支援

● 賞の構成・スケジュール

子どもや子育てに対する配慮や工夫が際立つ優れた取り組み
キッズデザイン賞

受賞作品発表：8月21日（月）

キッズデザイン賞受賞作品の中から、以下の各賞が選出されます。

審査結果発表・表彰式：9月25日（月）

最優秀賞	内閣総理大臣賞
優秀賞 経済産業大臣賞 少子化対策担当大臣賞 消費者担当大臣賞 男女共同参画担当大臣賞	奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞
特別賞 東京都知事賞 審査委員長特別賞 TEPIA特別賞	

<これまでの受賞例>



最優秀賞
内閣総理大臣賞

自然と調和した
広大な園舎で
里山教育を实践
東京ゆりかご幼稚園+
里山教育（保育園・幼稚園）



【昨年度新設】

特別賞
東京都知事賞

ケガをしにくい
フェルト素材の
水洗い可能なイス
RK-Chair（家具・インテリア）
東京都審査料補助制度
による受賞（実施予定）



奨励賞
キッズデザイン協議会会長賞

妊娠期間に
夫婦間で共有できる
妊婦記録・日記アプリ
トットオカ（子育て支援）

上記のほかにも I O T 関連や住宅設備、家電製品など、ベビー・子ども向け製品・サービスに限らず幅広い業界からご応募いただいています。これまでの受賞作品検索サイト <http://www.kidsdesignaward.jp/search/>

お問合せ先：キッズデザイン協議会 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10虎ノ門35森ビル7階
TEL: 03-5405-2141 メール：info@kidsdesign.jp

■キッズデザイン賞について

ますます応募が増えています！

2007年の創設以来、今回で11回目となります。これまで全国の企業、自治体、教育機関、NPOなどさまざまな団体よりご応募いただき、2,155点の受賞作品が生まれています。

10年間の応募総数

3,619点

10年間の総受賞数

2,155点

審査委員長

益田文和（インダストリアルデザイナー／オープンハウス 代表取締役）

副審査委員長

赤池 学（科学技術ジャーナリスト／ユニバーサルデザイン総合研究所 所長）

無藤 隆（教育心理学者／白梅学園大学 教授）

持丸正明（産業技術総合研究所 人間情報研究部門 研究部門長）

山中龍宏（小児科医／緑園こどもクリニック 院長）

審査委員

赤松幹之（産業技術総合研究所 自動車ヒューマンファクター研究センター 首席研究員）

大月ヒロ子（ミュージアム・エデュケーション・プランナー／アイデア 代表）

岡崎 章（拓殖大学 教授）

定行まり子（日本女子大学 教授）

竹村真一（文化人類学者／京都造形芸術大学 教授／Earth Literacy Program 代表）

西田佳史（産業技術総合研究所 人工知能研究センター 首席研究員）

橋田規子（プロダクトデザイナー／芝浦工業大学 教授）

水戸岡鋭治（デザイナー／ドーンデザイン研究所 代表）

宮城俊作（ランドスケープアーキテクト／設計組織 PLACEMEDIA・パートナー）

森本千絵（コミュニケーションディレクター／アートディレクター）

山中敏正（筑波大学 芸術系長 教授）

■受賞メリット例 受賞後は、メディア露出や展示などで新たなビジネスチャンスが広がります。

- キッズデザインマークを使ってWeb、パッケージ、パンフレットなどで受賞をPR
- さまざまなメディアに受賞を取り上げられて注目度UP
- 内閣総理大臣賞等の受賞作品を新聞記事広告で掲載予定
- 受賞作品を展示やワークショップセミナーなどで紹介
- キッズデザイン賞Webサイトで審査委員コメントを紹介



キッズデザインマーク使用例



表彰式でのメディア取材



さまざまなメディアへの掲載



Webサイトでの紹介

■応募の流れ、審査料など



※カテゴリーが「調査・研究」、「復興支援」における審査料は、応募者を問わず無料とします。

※東京都審査料補助制度による「子どもたちの安全安心に貢献するデザイン部門」の都内中小企業を対象とした審査料全額補助を予定しています。（4月正式決定）

●マーク使用料

受賞時のプレスリリースでの使用は無料、受賞後のマーク使用料は50,000円～（税別）となります。

マーク使用キャンペーンとして、中小企業からの応募による応募作品には無料でキッズデザインマークをご使用いただけます。

マーク申請をしていただいた受賞作品は2年目以降も継続して無料でマークを使用することができます。

- 詳しくは、キッズデザイン賞Webサイトをご覧ください。⇒ <http://www.kidsdesignaward.jp>